

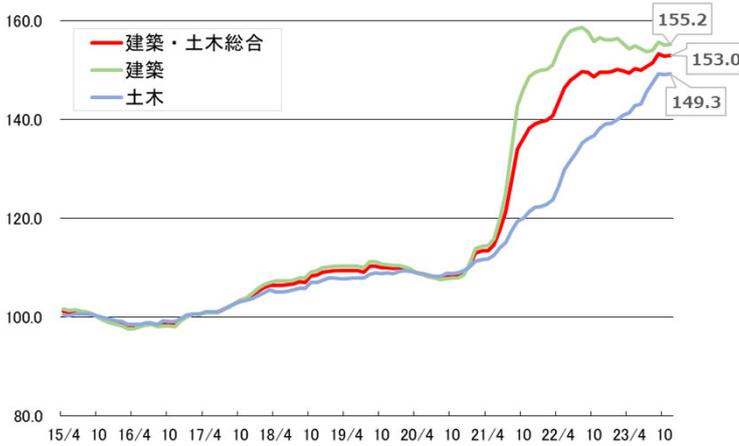
積算資料 建設資材価格指数

ER 一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2023年11月調査）

全国・2015年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同期比
建築・土木総合	153.0	+0.2	+3.5
建築	155.2	+0.1	-1.3
土木	149.3	+0.2	+11.1

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●生コン：+7.3仙台、+4.2新潟●コンクリート二次製品：+8.1広島、+2.6名古屋、+2.0新潟、+1.3那覇●瀝青材：+2.2仙台、+2.1札幌、+1.9那覇、+1.8新潟・高松、+1.7広島、+1.6福岡、+1.5名古屋、+1.3東京・大阪	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-0.7名古屋・福岡
建築	<ul style="list-style-type: none">●生コン：+7.1仙台、+4.0新潟●コンクリート二次製品：+13.5広島、+3.4新潟・名古屋、+0.7那覇	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-0.9福岡、-0.6名古屋
土木	<ul style="list-style-type: none">●生コン：+7.4仙台、+4.3新潟●コンクリート二次製品：+2.9那覇、+1.4名古屋、+0.4新潟●瀝青材：+6.5那覇、+4.1東京・名古屋・大阪・広島、+4.0福岡、+3.8仙台・新潟・高松、+3.7札幌	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-0.9名古屋、-0.4福岡

指数集計対象資材の市況

11月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で2カ月ぶりに上昇し153.0となった。これまで軟調に推移してきた普通鋼鋼材市況が、メーカーの値上げ等を背景に下げ止まる気配となっている。一方、生コンクリートやコンクリート二次製品では、セメントや骨材など原材料価格の上昇を受けて、製品価格へ転嫁する動きが全国各地で続いている。また、原油相場上昇の影響を受けた瀝青材市況も上伸した。こうした動きが指数のプラスに寄与し、総合指数は前月比で0.2ポイント、前年同月比では3.5ポイントの上昇となっている。総合指数が前年同月を上回るのは35カ月連続。足元の指数の動きは緩やかながら、依然として前年を上回る水準での推移が続いており、当面この傾向は続くと思われる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212